

あなみず 議会だより

2024 vol. **48**

令和6年5月1日発行
石川県穴水町議会



令和6年4月12日
天皇皇后両陛下が穴水町を訪問

議案一覧	2
議員提出議案	3
令和6年度当初予算の概要	4～5
補正予算の概要	6～7
予算決算特別委員会での審議	8～9



会期：令和6年3月11日～3月13日

番 号	件 名	可 否	摘 要
議案第1号	令和6年度穴水町一般会計予算	原案可決	全員賛成
議案第2号	令和6年度穴水町国民健康保険特別会計予算	原案可決	
議案第3号	令和6年度穴水町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	
議案第4号	令和6年度穴水町介護保険特別会計予算	原案可決	
議案第5号	令和6年度穴水町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	
議案第6号	令和6年度穴水町病院事業会計予算	原案可決	
議案第7号	令和6年度穴水町水道事業会計予算	原案可決	
議案第8号	令和5年度穴水町一般会計補正予算（第7号）	原案可決	
議案第9号	令和5年度穴水町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	
議案第10号	令和5年度穴水町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	
議案第11号	令和5年度穴水町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第12号	令和5年度穴水町病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決	
議案第13号	令和5年度穴水町水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決	
議案第14号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第15号	穴水町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	原案可決	
議案第16号	財産（旧諸橋小学校等）の貸付について	原案可決	

報告第1号	令和5年度穴水町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について	原案承認	全員賛成
報告第2号	令和5年度穴水町一般会計補正予算（第6号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第3号	令和5年度穴水町病院事業会計補正予算（第2号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第4号	令和5年度穴水町水道事業会計補正予算（第2号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第5号	穴水町手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第6号	穴水町土地開発基金条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	

発議第1号	令和6年能登半島地震の災害復旧・復興支援を求める意見書の提出について	原案可決	全員賛成
-------	------------------------------------	------	------

議会報告第1号	例月出納検査の結果報告について		
---------	-----------------	--	--

議案に対する質疑

【大中議員】

穴水小学校の「基本計画」について確認する。

穴水小学校改築基本計画策定支援業務委託で予算額 1,100 万円が計上されているが、内部での検討も前後して、町民・地域住民、例えば向洋小学校の地域住民や PTA との話し合いはされているのか。あるいは、今後する予定はあるのか。段取り、計画について充分検討なされているのか

【吉村町長】

大事なことは、「学校像」を創り上げることと考えているが、現段階では、外部の有識者の意見を聞いた上で、町民の意見をどう集約していくか考えている。

具体的には基本計画の中で決め、実施していく



議員提出議案 発議第 1 号



令和 6 年能登半島地震の 災害復旧・復興支援を求める意見書

令和 6 年 1 月 1 日午後 4 時 10 分に能登地方で発生した地震は、石川県内の広い範囲にわたり、極めて甚大な被害が発生し、今も「終わりなき余震」が続いています。

この地震は、最大震度 7（マグニチュード 7.6）を観測し、激しい揺れと津波により、多数の死者・負傷者が出ており、住家や上下水道などのライフラインのほか、道路や漁港等でも損傷が激しい状況にあります。

このような中、国において、本災害の激甚災害への指定などによる、早期復旧への後押しや、地震発生直後からの国をはじめ対口支援自治体、関係者等のご協力を得ながら全力で対応し、ライフラインが 2 か月余りという早い期間での応急復旧にたどり着いております。

しかし、今後を考えたとき、この地震を契機とした町外・県外への人口の流出が大きな課題となっており、地域のサービス産業の衰退が加速化し、生活に必要な商品やサービスを入手することが困難となるなど、地域の雇用機会の減少に繋がり、さらなる人口減少を招きかねない状況にあります。

今後、地方自治体が財政面で安心感をもって復旧・復興にしっかり取り組んでいくためには、国による財政支援への明確な担保と長期的な支援が必要であります。

よって、国におかれては、こうした実情等をふまえ、穴水町をはじめとした被災地が一日も早く復旧・復興を成し遂げるため、国による直轄事業の拡大・推進と新たな補助制度の創設や補助率のかさ上げなどの財政措置及び地方負担分を極小化するための特別交付税の別枠措置など、これまでの枠にとらわれない措置を講じられるよう強く要望します。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、内閣府特命担当大臣、内閣官房長官、警察庁長官

令和6年度当初予算が可決されました

震災対応により、予算編成作業が行えず、職員費や社会保障関係経費などの義務的経費や継続事業のほか、地震対策、その関連事業など、年度当初から対応する必要のある経費のみを盛り込んだ骨格予算の編成である。

一般会計予算 82億7,100万円（うち震災関連:22億9,321万円）

会 計			令和 6 年度	令和 5 年度	増減率
一般会計			82 億 7,100 万円	68 億 7,300 万円	20.3%
特別会計	国民健康保険		10 億 1,839 万円	10 億 6,317 万円	▲ 4.2%
	公共下水道		3 億 3,511 万円	3 億 8,768 万円	▲ 13.6%
	介護保険		14 億 8,318 万円	16 億 1,364 万円	▲ 8.1%
	後期高齢者医療		1 億 8,116 万円	1 億 7,770 万円	1.9%
事業会計	病院事業	収益的	25 億 2,950 万円	27 億 3,670 万円	▲ 7.6%
		資本的	2 億 361 万円	2 億 7,291 万円	▲ 25.4%
	水道事業	収益的	2 億 8,931 万円	2 億 8,152 万円	2.8%
		資本的	1 億 4,507 万円	1 億 3,114 万円	10.6%
合 計			144 億 5,633 万円	135 億 3,746 万円	6.8%

※事業会計は、支出額を計上

【1. 能登半島地震関連の主な事業】

○ 穴水町復興計画策定事業

・・・600万円

復興計画策定に係る、調査支援業務委託及び委員報酬、事務費 など

○ 避難所運営に要する経費等

・・・1億5,396万円

- ・ 避難所の管理運営費
- ・ 仮設トイレし尿運搬処理委託料
- ・ 派遣給水支援に係る経費 など

○ 災害ボランティアセンター運営事業

・・・270万円

町社会福祉協議会が運営するセンターの運営経費

○ 被災者生活再建支援金支給事業（町独自支援）

・・・5億4,900万円

国の制度に適用できない中規模半壊以下の住家に対し、町独自で支援。 ※県補助事業を活用

	基 礎	加 算	
中規模半壊	20 万円	国の制度あり	
半 壊	20 万円	建設・購入	100 万円
		補 修	50 万円
		賃 貸	25 万円
準半壊	10 万円		
一部損壊	5 万円		

単身世帯は 3/4

○ 応急仮設住宅関係費

・・・1億2,239万円

- ・ 仮設住宅入居者に対する家電給付金（限度額 13 万円）
- ・ 賃貸型応急住宅（みなし仮設型）賃借料 など

【1. 能登半島地震関連の主な事業】

○ 穴水町防災広場仮設商店街整備事業

・・・2億7,000万円

小規模事業者の早期活動再開のため、店舗・事務所等の仮設施設を整備
店舗数：8区画を予定

○ 穴水小学校仮設校舎整備事業

・・・2億円

新校舎完成までの間、仮設校舎の設置に係る賃借料

設置場所 現小学校の運動場

構造 軽量鉄骨2階建

延床面積 約2,300㎡

賃借期間 令和6年8月～令和8年7月
(延長あり)

賃借料 6億円(2年間)

○ セントラルキッチン運営事業

・・・748万円

在宅避難者等へ継続して食事(毎夕食)の提供を行うための運営費。

期間：令和6年6月30日まで

○ 災害施設復旧事業

・・・8億1,195万円

【内 訳】

・農林施設 ・・・12,300万円

・水産施設 ・・・7,200万円

・小規模水道施設 ・・・4,500万円

・公共土木施設 ・・・36,500万円

・町営住宅施設 ・・・15,000万円

・文教施設 ・・・3,555万円

・学校施設 ・・・2,140万円

【2. その他主な新規事業】

○ on LINE Town 推進事業

・・・902万円

公式LINEを開設し、各種情報の発信や行政手続きのオンライン化を加速。新たに公民館及び公園に公衆無線LANを設置



穴水町公式LINE開設！

LINEを導入導入してできる「主な機能」▶



広報



アンケート機能



トークで申請



町の不具合報告



ごみカレンダー



証明書の請求

○ 戸籍総合システム標準化・共通化移行事業

・・・1,294万円

地方公共団体の情報システムを当一共通化し、効率的かつ安全なサービスの提供を行う

○ 災害時等における情報伝達強化事業

・・・306万円

HPや防災メールなど多様な情報伝達ツールに、一括で情報発信を可能とする

○ 穴水小学校改築基本計画策定支援事業

・・・1,100万円

建替基本計画策定に向けた各種調査支援業務の実施



補正予算の概要【令和5年度】



会 計			予 算 額	3 月補正額	2 月補正額 (専決)	1 月補正額 (専決)
一般会計			133 億 5,863 万円	45 億 2,200 万円	8,584 万円	14 億 9,400 万円
特別会計	国民健康保険		10 億 6,764 万円	229 万円	－	－
	公共下水道		4 億 9,690 万円	9,419 万円	－	－
	介護保険		16 億 4,590 万円	3,226 万円	－	－
	後期高齢者医療		1 億 7,770 万円	－	－	－
事業会計	病院事業	収益的	27 億 3,670 万円	－	－	－
		資本的	7 億 230 万円	▲ 5,850 万円	4 億 8,790 万円	－
	水道事業	収益的	2 億 8,439 万円	286 万円	－	－
		資本的	4 億 5,213 万円	3 万円	3 億 2,097 万円	－
合 計			209 億 2,229 万円	1 億 8,263 万円	8 億 9,471 万円	14 億 9,400 万円

※事業会計は、支出額を計上



能登半島地震関連の主な事業（一般会計）



1 月補正予算（専決）

○ 職員手当（時間外勤務・宿日直手当等）
・・・ **3,180 万円**

○ 住宅緊急・応急修理事業
・・・ **2億6,180万円**
ブルーシート等の緊急修理、日常生活で必要最低限の修理 など

○ 消防団員出動報酬等
・・・ **410 万円**
災害対応のための出動

○ 文教施設災害復旧費 ・・・ **1,010 万円**
・ 社会教育施設応急復旧費 ・・・ 200 万円
瓦除去、ブルーシート張
・ 小中学校施設応急復旧費 ・・・ 810 万円
給排水管、ネットワーク機器 など

○ 賦課徴収費 ・・・ **1,790万円**
被災建物応急危険度判定及び罹災証明書交付等に要する経費

○ 災害廃棄物処理事業
・・・ **8億6,600万円**
仮置き場設置費及びごみ運搬処理費用 など

○ その他公共施設災害復旧費
・ 役場庁舎等応急復旧費 ・・・ 1,490 万円
・ 地域情報センター等土砂撤去工事・500 万円
・ 防災行政無線応急復旧費 ・・・ 500 万円
・ し尿処理施設災害復旧工事 ・・・ 2,700万円

2月補正予算（専決）

○ 中長期派遣職員受入環境整備

・・・1,375 万円

全国から派遣される職員が使用する事務機器等購入費（30 名分）

○ セントラルキッチン運営経費

・・・582 万円

避難所等への継続的な炊き出し支援に係る経費

○ 応急仮設住宅建設用地購入費

・・・4,500 万円

川島地内：A=3,070 ㎡、下唐川地内：A=942 ㎡

○ 災害廃棄物処理事業（公費解体）

・・・100 万円

被災家屋等の公費解体撤去申請受付に係る事務費

○ 避難所運営経費

・・・420 万円

避難所（庁舎及び集会所等）の光熱水費（3 か月分）

○ その他公共施設災害復旧費

・・・1,540 万円

・役場庁舎応急復旧工事 ・・・ 500 万円

・消防庁舎応急復旧工事 ・・・ 680 万円

・防火水槽漏水補修工事 ・・・ 360 万円

（越の原、上唐川、曾良地内）



3月補正予算

○ 災害廃棄物処理事業費

・・・43 億 5,000 万円

災害廃棄物仮置き場管理及び運搬処理業務費 など



○ ふるさと納税事業

・・・1 億 8,500 万円

寄付金の増額に伴う補正

○ 公共下水道事業特別会計繰出金

・・・2,048 万円

震災による下水道使用料の減額（12 月～3 月分）に伴う繰出 など



予算決算特別委員会での審議

庁舎の復旧

問 庁舎の本復旧には時間がかかると思うが、エレベーターの復旧はいつ頃か

答 非常に損傷が激しく、専門家の調査を受け、修繕か新設かを判断する。

公費解体事業

問 公費解体は国の制度上、全部解体が条件と聞くが、リフォームして使用できる部屋まで解体しなければならないのか

答 一部解体について、多くの方から問い合わせがある。公費解体は棟単位で行うので、一棟の建物全て解体することが原則です。ただし、「登記上別棟である」または「構造上別棟である」と判断される場合は、一部解体ができる可能性があります。

防火水利の点検

問 防火水槽17基で減水が確認され、3基で修繕が必要とのこと。残り14基はどれくらいの減水か

答 減水量は、3 cmから多くて50 cm。

問 確認作業はいつ頃、どのように行ったのか

答 発災直後、金沢市消防局をはじめ多くの県内応援隊の協力を得て、充水作業を行い、その減水位置を確認した。

罹災証明書

問 二次調査で判定結果が変わることはあるのか

答 内閣府の規定に基づく調査により判定を行っている。

一次調査では、外観及び傾斜・基礎・壁・屋根の被害程度を計測し損害割合を算出。

二次調査では、外壁・内壁・床・柱・天井・建具・設備など建物内部についても計測し損害割合を算出するため、変わることもある。

災害弔慰金・災害障害見舞金事業

問 町外に住民登録がある方が、今回亡くなられているが、対象ではないのか

答 住民登録がされている自治体から支給される。

被災者生活再建支援金事業

問 「該当者が知らなかった」ということのないよう、周知するように。申請には何が必要か

答 基礎支援金には、申請書に罹災証明書を添付。町単独の支援金の拡充により、ほぼ全ての町民が対象となるため周知に務める。

問 人口流出を抑える新たな加算措置を講じてはどうか

答 検討する。

仮設商店街整備事業

問 防災広場の駐車場も使用するのか。近隣住民への説明を行い、少しでも不安要素をなくすように

答 駐車場を含めた敷地を活用。住民への説明は丁寧に行う。

問 仮設商店街に入れる期間は

答 最長で5年間貸付可能。概ね入所から2年間で本拠地での再構築が条件となる。

問 仮設商店街の開始時期は

答 最短で9月から。状況により、1年かかる可能性

問 入所する業者の想定は

答 町商工会加入業者であれば、全て対象。まずは飲食店や小売店を想定している。

漁港及び護岸の復旧

問 ほとんどの漁港及び護岸に被害が及んでいるが修繕工程は

答 年内に査定を受け順次着手予定。

災害公営住宅

問 災害公営住宅建設予定は、ゲンキーの裏だ
けか

答 現在は、そこに23戸と、下唐川地区に6戸予定し
ている。

問 一般的な仮設住宅と災害公営住宅の入居
に、条件の違いがあるか

答 自立再建不可能の方に、災害公営住宅を充てて
いる。最終的には、やすらぎマンションのような町営
住宅を検討している。

問 仮設住宅からの交通手段はどうするのか

答 町内を巡回するバスなどの運行を検討している。

問 仮設住宅の駐車場をアスファルトにはで
きないのか

答 県に要請する。

穴水小学校応急仮設校舎整備事業

問 令和8年7月以降も賃借する予定とある
が、金額は

答 文科省と協議する必要がある、現時点では未定。

文化財の被害状況

問 町にある文化財の、被害状況は

答 国指定は、明泉寺五重塔1件、被災がある。県
指定（有形文化財）は7件、うち4件に被害がある。
町指定（有形文化財）は59件、うち10件に被害がある。

上下水道の復旧

問 上野浄水場の施設本復旧の用途は

答 現在も、小又川から大型ポンプで取水を行って
いる。農林災害査定を受けており、復旧には1年以上
かかる。

問 上水道の老朽管を、耐震管に取り替えれば
どうか

答 資材が高額なため、水道料金等にも影響が及ぶ。
令和6年4月から水道行政が国土交通省に移管される
ため、今後補助事業が充実することを望む。

問 宇留地浄水場を廃止する計画となっている
が、災害が起こった際に必要ではないか

答 今回の震災によって宇留地浄水場にバックアップ
機能があると認識した。水道ビジョンや経営戦略を含め、
検討する。

問 浄化槽の復旧事業助成は

答 環境省にコールセンターが設置されている。補
助を受けるには必ず連絡が必要。周知に務める。

その他

問 震災対応で、職員の健康面のケアは

答 産業医科大学が作成した健康チェックを活用。
心身状態の悪い職員には直接連絡を取ることとし各課
長には、課員の状況を把握するよう指示している。

問 震災を機に、廃業する事業所はあるか

答 商店街や一次産業をはじめ、話は多く聞く。1事
業者でも廃業を減らすサポートをする。また、新規参入
にも取り組む。

問 中長期派遣職員の配属先は

答 地域整備課に10人程、環境安全課に6人、栄養
士等に4人、上下水道課に数名。

問 被災家屋を取壊し更地にした宅地の固定
資産税は、増額となるか

答 固定資産税（建物）はかからなくなるが、新築
した場合は新規課税対象となる。住宅用地の特例につ
いては、今回の地震により更地となった場合、特例延
長の対象となる。

【一般質問の取り止め】

今回の地震は、町全域にわたり甚大な被害が生じていることから、町職員には災害対応にその力を注いでいただき、少しでも早く復旧・復興へ寄与すべく、今定例会においては一般質問は行いませんでした。

議会活動レポート

(総務産業建設常任委員会)

令和5年12月14日、委員5名と町執行部が、奥能登土木事務所を訪れ、町民から提出されている要望を伝え、早期対応をお願いした。



令和6年 議会の動き (1月～3月)

1月	事業名	会場等
31日	全員協議会	議場
2月	事業名	会場等
8日	議会運営委員会	201会議室
	広報編集特別委員会	議会事務局事務室
19日	奥能登市町議会議長連絡協議会	東京都
3月	事業名	会場等
1日	県立穴水高等学校卒業証書授与式	穴水中学校
9日	穴水中学校卒業証書授与式	穴水中学校
11日	議会3月定例会 開会	議場
	// 総務産業建設常任委員会	委員会室
	// 教育民生常任委員会	議場
12日	// 予算決算特別委員会	委員会室
13日	// 閉会	議場
14日	向洋小学校卒業証書授与式	向洋小学校
15日	穴水小学校卒業証書授与式	穴水中学校
25日	例月出納検査	委員会室
29日	石川県町村議会議長会議長協議会	金沢市

編集後記

能登半島地震発生から、3ヶ月、100日余りが過ぎました。

改めて、お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りし、被害に遭われた皆様方に対して心からお見舞い申し上げます。

地震発生直後から、吉村町長始め、議会を代表し佐藤議長が現地視察や避難所を訪問し、町民の方々へお見舞いを申し上げます。対話から今必要としているニーズを聞き取り、一日も早い復旧・復興に向け取り組んでおられます。

仮設住宅は、現在161戸が完成し、入居を希望する全ての方が入居できる様、県と協力し建設が進められていると聞きます。

また、地震から3ヶ月余りを経て、4月6日には「のと鉄道」が全線で運行を再開したという、明るい情報も伝わってきました。

さらに、桜前線と共に4月12日には天皇皇后両陛下が穴水町を慰問され、被災した商店街を視察し、さわやか交流館プラウトに避難している方々にお声をかけて下さり、沿道に集まった町民に向け元気を届けて下さいました。

私たちも、一歩ずつではありますが復興に向け、今後も皆様と手を携えて頑張つてまいります。これからも、町民皆様方のご理解・ご鞭撻をお願い申し上げます。

文責 小坂 孝純

穴水町議会広報編集特別委員会

委員長 小谷 政一
副委員長 宮本 浩司
委員 大中正司
委員 小坂 孝純

